

雜 錄

獨逸經濟學界近況 (一)

米田庄太郎

當大學法科大學ニ購入スル獨逸ノ經濟學雜誌中、或物ハ昨年四月號マデ到着シテ居ルガ、其ノ後ハ何レノモノモ一モ着シナイ。ソレデ戰時中或ハ發行ヲ中止シテ居ルノデハアルマイカト考ヘテ居ツタガ、然ルニ文科大學社會學研究室ニ購入シテ居ル伊太利ノ社會學雜誌 *Rivista Internazionale di scienze sociali e Discipline Ausiliarie* ノ雜誌論文要領紹介ノ部ヲ見ルト、每號獨逸ノ社會學雜誌ヤ經濟學雜誌中ノ論文ガ紹介サレテ居ル。而シテ夫レニヨリテ見ルト、余輩ノ常ニ親ンデ居ツタ獨逸ノ主要ナル經濟學雜誌ハ相變ラズ發行サレテ居ルノデアル。ソレデ余ハ最近ニ着セル同伊太利社會學雜誌數號ニ就テ、左ノ獨逸經濟學雜誌本年度諸號中ノ論文大要紹介中特ニ余ノ興味ヲ惹キシモノヲ選ンデ、茲ニ之ヲ

雜 錄 獨逸經濟學界近況 (一)

翻譯シ以テ同學ノ士ノ參考ニ供シタイト思フ。

Zeitschrift für die Gesamte Staatswissenschaft.

Schmollers Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft in Deutschen Reich.

Jahrbücher für Nationalökonomie und Statistik.

Staats- und Sozialwissenschaftliche Forschung.

Weltwirtschaftliches Archiv.

Zeitschrift für Volkswirtschaft, Sozialpolitik und Verwaltung.

Weltwirtschaft.

Weltwirtschaft.

リーふまんノ「資本ト資本主義」⁽¹⁾

リーふまんハ本論文ノ問題ト直接又ハ間接ニ

關係ヲ有スル幾多ノ研究ヲ既ニ發表シテ居ル。

而シテ其等ノ研究中デ、先ヅ注意ス可キモノハ、

千九百十三年「國民經濟學及ビ統計學年報」ニ於

テ公ニセル論文「經濟ノ本質及ビ國民經濟學ノ

出發點」、及ビ千九百十四年ヤハリ同年報ニ於テ

公ニセル論文「經濟ト技術」デアル。此等ノ二論

文ハ彼ノ研究ノ最トモ基礎的方面ヲ論述セルモ

ノデアルガ、更ニ彼ハ「社會科學及ビ社會政策

寶庫」ニ於テ、千九百十三年ニ、「主觀的評價」

ニ於テ、千九百十三年ニ、「主觀的評價」

ニ於テ、千九百十三年ニ、「主觀的評價」

ニ於テ、千九百十三年ニ、「主觀的評價」

(1) Liefmann, Kapital und Kapitalismus. (Zeitschrift für die Gesamte Staatswissenschaft. Drittes Heft. 1916-1917.)

リ代價ノ成立」ト題スル論文、及ビ千九百十五年ニ「競争ト獨占ノ理論」ト題スル論文ヲ公ニシ、以テ社會經濟學ノ中心問題ヲ究明セント試ミテ居ル。而シテ本論文ニ於テモ亦、資本及ビ資本主義ニ關スル重要ナル根本的理論問題ヲ論究シテ居ルノデアル。

却説リ一ふまんハ資本ヲ解シテ、是レ「貨幣的収益ヲ確定スル手段トシテノ費用ノ貨幣的計算形式」デアルト云フテ居ルガ、吾人ハ此ノ資本ノ定義ニヨリテ、彼ノ資本概念ハ、一般ニ經濟學者ガ抱イテ居ル資本概念ト、如何ニ異ナツテ居ルカラ察スルコトガ出來ル。要スルニ彼ハ今日マデマダ探檢サレテ居ラナイ方面カラ、資本ヲ考究セント試ミテ居ルノデアル。更ニ彼ハ只純理論的ニ論究スルダケニ止メズ、實際ノ生活及ビ人々ガ一般ニ資本ニ就テ抱イテ居ル觀念ニ就テ、豐富ナル材料ヲ蒐メテ考察シテ居ル。今リ一ふまんハ先ヅ資本ヲ物質主義的方面及ビ貨幣的方面カラ考察シテ居ル。彼ノ論ズル處ニヨレバ、人々ガ資本ト云フ場合ニハ、直チニ所

得、即チ價值ノ増加ノ事實ヲ思フ。此クノ如クニシテ、近世ノ物質主義的資本概念ガ生起シタルノデアルガ、此ノ資本概念ハ資本ノ生産力ノ思想ヲ以テ生産及ビ經濟ヲ根本的ニ決定セントスルモノデアアル。經濟理論ニ於ケル主觀主義ノ新代表者スラモ、此等ノ概念カラ全クハ解放サレテ居ラナイ。此クテ或理論家ハ彼等ノ資本論ノ中ニ、物質主義的觀念ヲ輸入セント努力シテ居ル。之ニ反シテ又突然之ヲ振り離サントスルモノモアル。併シ資本ニ關スル物質主義的觀念ト貨幣的觀念トノ調和ヲ圖ラントスルモノハナイ。而シテリ一ふまん自身ハツマリ之ヲ試ミントスルノデアル。

夫レ經濟ノ物質主義的觀念ハ、國民ノ富ノ増進ト共ニ世ニ生レタルモノデアアル。而シテ物質主義的觀念ト貨幣的觀念トノ争ヒハ、ツマリ富及ビ資本ハ財貨ノ分量ヨリ成ルカ、又ハ貨幣ノ分量ヨリ成ルカト云フ問題ニ歸着スルト思フ。近世ノ理論、即チ物質主義的觀念ニ於テハ、生産ノ手段、或ハ生産サレタル「生産ノ手段」トシテノ資本ガ重要視サレテ居ル。實際ニ於テ國民ノ

富ト云ヘハ、貨幣ノ分量デハナクシテ、生産物
及ビ其ノ生産手段ガ意味サレテ居ル。而シテ此
等ノ生産物ガ資本ト稱セラレテ居ル。此ノ如キ
あたむ、すみすノ概念ハ常ニ經濟學者ノ思想ヲ
支配シテ居ツタ。今此ノ見地ニ從フテ考フレ
バ、貨幣ヲ資本ト稱スルコトハ、出來ナクナル。
貨幣及ビ貨幣ノ收入ハ生産物ノ一部分ヲナスモ
ノデナイト認メネバナラス。併シあたむ、すみ
す自身モ社會的資本ト私的資本トノ區別ヲ立テ
テ居ツタ。モツトモ彼ハ常ニ此ノ區別ヲ嚴守シ
テ居ラナカツタガ、トニカク此ノ區別ヲ立テテ
居ツタ。而シテ又貨幣ヲ自由ニ所置シ得ル一種
ノ資本トモ考ヘテ居ツタ。

あたむ、すみすノ其等ノ原理ヨリシテ近世ノ
經濟理論ハ建設サレテ居ルノデ、例ヘハわがな
一ノ如キハ資本ヲ以テ「純經濟的ナル一範疇」ト
考ヘタ。此等ノ理論ニ從ヘハ、貸自轉車ヤ、貸
馬車ヤ、貸屋ハ普通ノ經濟的意味ニテハ資本デ
ナイ、併シ賃料ガ他人ヨリ貨幣ニテ支拂ハレタ
トキニ資本トナルコトニナル。此等ノ結論ハ最

トモ愚ナル物質主義ニヨリテ混亂サレテ居ルモ
ノデアル。而シテ吾人ハ又重農派ノ説ヤ、重商
派ノ説ニ於テモ同ジ評ヲ加ヘルコトガ出來ル。
重農派ハ財貨ハ只他ノ財貨ヲ生産シ得ルモハデ
アル場合ニノミ資本デアルト考ヘ、又重商派ハ
之レニヨリテ國民的貨幣ガ増加シ得ラルルニ於
テノミ、資本デアルト考ヘタ。サレバ貨物ハ生
産者ノ手ニアルトキハ、資本デアアルカ、併シ商
人ノ手ニ移レバ、資本デナイコトニナリ、又現
金ニ於テノ資本ハ眞ノ意味デハ資本デナイコト
ニナル。而シテ此等ノ思想ハ、實ニベーむ、ば
ゲえるクガ現代ノ經濟學上ノ最大著作ト見做サ
レテ居ル三卷ノ著書ヲ書イタ基礎トナツテ居ル
モノデアル。

貨幣ニ於ケル資本ハ派生的ナ或ハ補助的ナ或
物ニシテ、國民的資本ヲ基礎トシテ始メテ成立
シ得ルモノデアルト考ヘラレテ居ル。而シテ總
テノ經濟學者ハ營利資本ハ只私經濟ノ意味ニ於
テノミ資本ニシテ公經濟ノ意味ニ於テハ資本デ
ナイト云フ意見ニ於テ、一致シテ居ル。併シ此ノ

種ノ總テノ議論ハ營利、收益、所得等ノ言葉ノ意味ノ不精確ナルガ爲メニ起レルモノデアロコトハ明白デアアル。此等ノ言葉ハ時トシテハ財貨ノ分量ヲ意味スルモノトシテ、又時トシテハ貨幣ノ分量ヲ意味スルモノトシテ用ヒラレテ居ル。

或經濟學者ハ資本ノ意義ヲ只貨幣ニノミ制限セントシテ居ル。而シテ是レハ資本ノ通俗的意義ニシテ、國民經濟發達ノ最初ノ時代ニ於テ發見サレ、又其ノ後技術的物質主義的理論ノ大ニ發達セルニ係ラズ、今日ニ於テモヤハリ通俗的ニ保持サレテ居ルモノデアアル。最古ノ經濟學說、即チ重商主義說ハ此ノ概念ヲ助長シ、又重農主義者、殊ニちゆるビーモ此ノ概念ヲ支持シテ居ツタ。重農主義者ハ實ニ資本ヲ集積サレタル價值トシテ定義シ、而シテ貨幣ハ各職業及ビ各產業ノ價值ヲ代表スルト同様ニ、各職業及ビ各產業ハ資本ヲ代表スルモノト論ジテ居ツタ。あだむ、すみすハ生産手段トシテノ資本ヲ第一位ニ据付ケタガ、せ、び、せーハ資本ノ物質主義的概念ヲ此ノ如キ第一位ヨリ引キ下シ、其ノ物質的基礎

ヨリ之ヲ切り離シタ。彼ハ資本ヲ造ルモノハ、物質ニ非ラズシテ、其ノ中ニ宿レル價值デアルト云フテ居ル。夫レヨリシテ一種ノ二元主義ガ起ツテ來タガ、是レト同時ニ又之ヲ打破セントスル企テガ起ツテ來タ。而シテ經濟ノ物質主義的概念ノ不可能ナルヲ始メテ認識シタノハ、ヘるまんデアツタ。併シ嶄新ナル概念ヲ呈出シタノハ社會主義者等デアツタ。彼等ハ物質主義的方面カラ脱却シタ。サレド資本ノ起源ノ説明ニ於テ經濟ト生産トヲ混同シタ。而モ彼等ハ貨幣ノ役目ヲ他ノ經濟學者ノ何レヨリモ、ヨリヨク理解シタ。是レハかゝる、まるくすノ効績デアツタガ、らつされモ亦與ツテ力アツタ。彼ハ生産物ガ貨幣ニ轉化サレルマデハ、資本デナイト考ヘタ。まるくすモ、亦貨幣ハ一定ノ過程ヲ通過シテ資本ニ化スルモノト考ヘタ。而シテまるくすノ思想ノ影響ヲ受ケテぞむばいるどハ、資本トハ一定ノ契約ヲ結び、貨幣的貸與又ハ特別ナル貸與ヲ通ジテ、物質的財貨ヲ化成シ、而シテ所有者ノ利益ヲ伴ナフテ之ヲ復産スルコトヲ目的ト

スル其ノ經濟形態デアルト論定シタノデアアル。
資本ハ生産ノ要素ノ一デアツテ、夫レ自身ニ於テハ物體ニ依頼スル必要ハナイ。資本ハ只吾人ノ思想ノ世界ニ於テ存在スルモノ、吾人ノ或目的ヲ爲メニ、吾人ニヨリテ創造サレタル一ノ意義或ハ一ノ概念デアアル。

今りーふまんノ資本ニ關スル右ノ如キ概念ハ確カニ總テノ他ノ資本概念ニ反對シテ居ル。併シ資本ニヨリテ造ラレタル所得或ハ生産物ハ、生産手段ニ於テ物體化スルトキデモ、決シテ其ノモトノ出發點ニ歸ルモノ、デナイコトガ承認サレルトキニハ、彼ノ概念ハ成立シ得ルノデアアル。要スルニ資本ハ決シテ所得ノ根源デハナクシテ、交換及ビ轉化ノ過程ヲ通シテ行ハルル所得ノ一手段デアアル。

譯者曰、右ハリーふまんノ論文ノ伊太利文紹介ヲ其ノ儘ニ譯シタモノデアアルガ、意味不明ナル處モアリ、又りーふまんノ思想ノ眞義及ビ特質ヲ十分ニ傳ヘテ居ルトモ思ハレナイ。余輩ハ之レニヨリテ、彼ノ主觀主義的資本概念ヲ、只

漠然想像シ得ルニ過ギナイ。惟フニ原文ハ隨分難解ノモノニシテ、紹介者ハ十分ニ其ノ眞意ヲ擲ヘルコトガ出來ナカツタノデアアルマイカ。トニカクハリーふまんノ資本概念ニハ嶄新ナル或物ガ含マレテ居ル様ニ思ハレルカラ、余ハ他日原文ヲ手ニ入レルコトヲ得バ、其ノ眞意ヲヨク究明シテ論評ヲ試ミタイト思フテ居ル。

しゆもらゝノ「戰後ニ於テハ自由國民經濟カ、又ハ社會主義的國民經濟カ」、

今日總テノ經濟學者ノ呈出シテ居ル此ノ問題ニ答フル爲メニ、しゆもらゝハ千八百七十年以後ノ獨逸帝國及ビ奧匈帝國ノ發達ヨリ考察ヲ始メテ居ル。彼ノ考フル處ニヨレバ、此等ノ兩帝國ハ政治的社會經濟的見地ヨリ見テ同様に近世化サレテ居ル。匈牙利ハ議會政治ノ一形態ニ到着シ、澳大利、獨逸、普魯西、其ノ他ノ獨逸諸國ハ民本的立憲的政治ヲ行フテ居ル。匈牙利ニ於テハ農業的貴族ハ尙ホ勢力ヲ振フテ居ルガ、獨逸及ビ澳大利ニ於テハ跡方セナク消滅シテ居ル。中央歐羅巴ニ於テハ、國家ノ經濟組織ハ農業國

Schmoller, Freie oder Sozialistische Volkswirtschaft nach dem Krieg?
(Schmollers Jahrbuch für Gesetzgebung, Verwaltung und Volkswirtschaft im Deutschen Reiche. XI. Jahrgang. Erstes Heft. 1917).

家ノ組織ヨリ工業國家ノ組織ニ移ツタ、獨逸ニ於テハ殊ニ輸出國家ノ組織ニ移ツタ。人民ハ議會ニ於テ、彼等ノ政黨ニ於テ、又彼等ノ組織サレタル階級ニ於テ、政治生活ニ能働のニ參與シテ居ル。階級の支配ハ獨逸ニ於テモ、亦澳大利ニ於テモ存在シナイ。但シ階級ガ政黨のニ組織サレテ相争フテ居ルコトハ、外而上階級の支配ノ行ハレテ居ルガ如キ觀ヲ呈シ、又夫レガ爲ニ、君主政治ノ運用ニ困難ヲ生ジテ居ルガ、併シ實際ニ於テ階級の支配ハ行ハレテ居ラナイ。廣大ナル形態ニ於テ發達セル大工業ハ、聯合及ビ合同ニ於テ組織セラレ、其ノ勞動者ハ大部分ニ於テ社會主義者デアアル。而シテ農業的及ビ工業的中等階級ハ西部歐羅巴ニ於テアルヨリモ強クハナイ。支配的ナル貴族階級ナルモノ、詳シク云ハバ貴族政治或ハ資本家政治ナルモノハ獨逸ニ存在シナイ、又千八百七十年以來嘗テ存在シタコトハナイ。中央歐羅巴ノ國民經濟ノ發達、隨フテ國民ノ富ノ増進ハ、英國、佛國及ビ露國等ガ驚愕ト恐怖トラ以テ眺メツアルホド大ナルモノデア

ル。此クテ彼等ハ若シ十年或ハ二十年前ニ企ダテタナラバ、或ハ效果ヲ奏シタデアラウト思ハルルコトヲ、今ヤ企ダテントシテ居ル。戰爭ノ勃發ニヨリテ中歐帝國ノ狀態、殊ニ獨逸ノ狀態ハ甚ダ困難ナルモノトナツタ。獨逸ハ原料ヲ外國ヨリ輸入スルヲ要スル大輸出國ヨリ、商業的ニ封鎖サレタル一國ニ轉化シナケレバナラナカツタ。澳大利及ビ隣接ノ中立國トノ交通ハ、此ノ狀態ヲ改善スル上ニ別段ノ力ハナカツタ。只帝國銀行ノ努力ニヨリテ工業ハ直チニ戰時工業ニ改變サレタガ爲メニ困難ナル狀態ヨリ免ルルヲ得タ。併シカカル狀態ヨリ獨逸ヲ救フニ就テ他ノ何物ヨリモ效力ノ大ナリシハ、勞動者ノ組織ノ優秀ナルコトデアツタ。若シ獨逸ガ年々三千萬馬ヲ貯ヘ、而シテ一億馬ノ基本金ヲ有スル三百八十萬人ノ組織サレタル勞動者ヲ有セザリシナラバ、勞動者階級ハサホドニ愛國的デ、サホドニ聰明デ又政治的ニ賢明デナカツタデアラウト思ハレル。目下ノ大戰爭ハ實ニ總テノ國民ノ道德的空氣ヲ清メ、最善ノ本能ヲ活動サセ、且ツ之

ヲ強健ナラシメタ。吾人ハ普魯西及ヒ獨逸ニ於テ、千八百六年ヨリ千八百十五年マデノ戰爭ノ結果トシテ、千八百八年ヨリ千八百二十年マデニ行ハレシガ如キ一大改革ニ近ヅキツツアルコトヲ感ズル。而シテ此ノ政治的・道德的改善ト共ニ、他ノ改善、即チ經濟的改善ノ行ハルルコトハ疑ハレナイ。勿論其ノ改善ハ急速ニハ行ハレマイ。併シ着々進ミ行クコトハ確實デアルト思ハレル。而シテ今日吾人ニトツテ大ニ慰ミトナルコトハ、英國ニ於ケルトハ正反對ニ、獨逸ニ於テハ同盟罷業ガ消滅シタコトデアル。生命ハマスマス貴重ニナツタ、否ナ今日ハ非常ニ貴重デアル。最善ノ才能及ビ最善ノ腕ハ日々破滅サレテ居ル。資本及ヒ所得ノ分配ハ今日ハ戰爭ニヨリテ影響サレテ居ル。貧シキ階級及ビ中等階級ハ困窮シテ居ル。併シ又幾百萬金ヲ儲ケタモノモアル。平和ノ曉ニハ、戰爭ニヨリテ造ラレタル廣大ナル仕組ガ、忽然消失スルトハ云ヒ得ラレナイガ、併シ多クノ獨占ハ停止サレルデアラウ。而シテ平和條約ノ締結後、千九百十年

ヨリ千九百十四年マデノ狀態ニ復歸スルニハ、少クモ二十年ヲ要スルデアラウ、或ハ其ノ年數デハ十分デナイカモ知レナイ。今日新ニ制定サレタ多クノ法律ハ其ノ儘ニ持續サレルデアラウ。是レ其ノ社會主義的性質ヲ具有スルガ爲メデハナクシテ、其ノ有用ナルガ爲メ、又其ノ獨逸ノ經濟的改善ヲ大ニ資クル處アルガ爲メデアル。戦後ノ經濟的組織ノ新形態ニ於テ、最トモ重要ナルモノハ、國家ノ創意及ビ活動ト總テノ私人ノ創意及ビ活動トノ協働デアアル。社會改良ノ方面ニ於テ、代々既ニ順備サレテ居ツタ多クノ變動ガ實現サレルデアラウ。

おれんべるぐノ「將來ノ世界帝國」
及ビ世界帝國ノ將來ニ就テ、

おれんべるぐノ考フル處ニヨレバ、英國ハ云フマデモナク、佛國モ、伊太利モ、獨逸モ、米國モ、露西亞モ、日本モ、地球上ノ總テノ強國ニ蔓延セル帝國主義ハ、輒近二十年間ニ發生シ又發達セル一事實デアアル。而シテ此ノ如キ帝國主義ハ其ノ性質カラ考ヘテ二種ニ分タレ

ル。其ノ一ハ政治的帝國主義ニシテ、其ノ二ハ經濟的帝國主義デアアル。併シ而者共ニ廣大ナル世界の帝國ノ觀念ヲ生起セシメ、世界ノ大部分ヲ征服セントスル大望心ヲ起サセタ。おいれんべるぐハ夫レ夫レノ強國殊ニ露西亞及ビ英國ニ於ケル帝國主義的傾向、并ニ之レニ伴ヘル諸現象ヲ吟味シテ居ル。彼ノ見ル處ニコレバ、英國ハ一大怪物デアアル。地球上ノ土地ノ五分ノ一以上ニ散布シ、世界ノ人口ノ四分ノ一ヲ占ムル四億ノ人口ヲ有スルぶりにあ帝國ハ、實ニ世界ヲ支配シ得ルカモ知レナイ。併シ今日世界的帝國ノ可能ヲ信ズルハ、ゆゑとびあヲ信ズルヨリモ以上ノ思想デアアル。而モ中歐ノ諸強國及ビ其ノ同盟國タルぶるがりあ并ニ土耳其ハ、益々其ノ結合ヲ強固ニスルコトガ、何ヨリモ肝要デアアル。彼等若シ相互ニ他ヨリ離レテ孤立センカ、全ク無方トナツテ仕舞フ。殊ニ獨逸ト澳太利トハ常ニ力ヲ合セテ進ンデ行カネバナラス。彼等ガ力ヲ盡シテ協働スル以上ハ、ヨク大世界的帝國ニ對抗スルコトガ出來、隨フテ毫モ之ヲ恐怖スル必要ハナイノデアアル。(大正六年十一月二十六日)